

自分のためだけではないコンテスト参加の楽しみ方に気づいちゃったかもしれないというお話し

JM1LZT 富山俊一

この数年、年に7,8回大量の装備と共に、山奥までコンテストをやりに行ったり行かなかったりしているワタクシですが、去年はちょっと新しい(?)アプローチを経験しました。

みなさんをご存知の JH1LTR 古池さんが参戦するコンテストのサポート。ちょっとカッコつけて言えば作戦参謀、またの名はパシリです(^。^)

ことの発端は LTR の鶴見川コンテスト参戦の作戦会議。LINE を使ったやり取りは日常茶飯事な私たちですが、私の出ない(出られない)鶴見川コンテスト(430MHz のみのコンテスト)に LTR が「マジ参戦」したいというところから始まり、じゃあ何処から出ようかと、あ〜でもない、こ〜でもないをやったところ、稲城市の若葉台駅ローカルが良さそうだということに。過去にも少なからず無線の移動運用に使われてきた場所ではあるみたいですが、一つ大きな問題が。「運用地点まではクルマで行けない=担ぎ上げ」^^;

ご記憶の方もいらっしゃるかとは思いますが、LTR はハイエースとトレーラーを「走るシャック化」していて、基本的にクルマからが彼の運用スタイル。しかも、運用地点の近くに駐車場もあまりない。

さあ〜て、どうするか? 江戸川区在住の LTR に代わり、近場の八王子の私がとりあえず現地の下見に。事前のリサーチで見つけた限りなく運用地点に近い駐車場にクルマを止め、歩くこと約 15 分。ギリギリなんとかかなりそう?

着いてみると、現地での眺望は素晴らしく、電波の飛び、聞こえともに期待が高まります♪ちなみに駐車場探しの際、移動運用と言えば

この人、JA1WOB 齋藤さんにも相談に乗っていただきました。その節は、本当にありがとうございました。

下見の手応えに基づき、移動地は決定。後は装備をどうするか。6時間のロカコンとはいえ、430MHz の FM,CW での連続 50W 運用ともなると、やはり電源がネックに。なんてったって、今回は担ぎ上げです。さんざん悩んだ末、今回は IC-705 での「だいたい」QRP 運用(最大 10W、平均 5W ぐらい)ということに落ち着きました(IC-9700 の投入は見送り)。ちなみに QRP 部門もあるのですが、やはり電源が許す限りはより大きなパワーでやりたいということで、非 QRP 部門エントリーすることに^^;

さて、コンテスト当日。自宅からクルマで 30 分の私が先発隊として前日の夜中に場所取りに。コンテストそのものとはともかく、椅子取りゲームなら不敗の私です(^O^)寝袋でウトウトしていると明け方に始発電車で江戸川区から LTR 登場。

2 人でサッサとアンテナを設営しリグ、PC をセット。多少の機材トラブルはあったものの、どうにかコンテスト開始の 9 時に滑りこみせえ〜ふ☆

始まってしまえば、後は放置プレイ(^.^)シングルオペとしての参戦ですから、オペレーションについて、私は一切協力するわけにはいきません。日頃、自分のコンテストにばかり夢中になっているので、他人がコンテストを本気でやっているのを 6 時間横で観察するというのは、実に貴重な経験でした。ホント、勉強になりました♪

途中、例によって 240 のみなさんからも多数のコールをいただき、結果に期待が高まりました。その節は、本当にありがとうございました。

最終的には目標としていたスコアにこそ届きませんでしたが、後日発表された結果は 55 局中 12 位。
初参戦の鶴見川コンテスト、上出来です。

実はこの後も東京 UHF、オール埼玉コンテスト、関東 UHF とコラボ参戦が続き(私は一つも参戦してません)、LTR は伊豆大島から二度にわたりオンエア。シングルオペのコンテスト参戦は基本的には孤独なものです、無線を通じて得た人間関係の中で、力を合わせてひとつの目標に向かっていくのって面白いということに、今さら気づいちゃったワタクシです^^

ちなみに、今は 4 月の ALL JA に向けての共謀、絶賛悪だくみ中な私たちです(^o^)

